団体名: 美浜町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる		事 業 評 価																	
尹未石	,	,	対象者	目 標①				目 標②			得られた効果		ABC				Б		今後の展開・改			備考
	事業所への訪問及び相談窓口の設置により、職員が小規模事業者等を対象に、融	・巡回窓口指導実企業数256 社(内非会員8社) ・巡回窓口指導延件数784件 (内非会員25件) ・課題解決提案件数16件 ・経営革新承認件数1件		指標	巡回窓口指導延件数 指標 (達成度 98.0 %)		指標		課題解決提案件数 全成度 80.0 %)		小規模事業者にとって信頼できる相談相手として、企業の経営や技術改	総	A 第	実	自己評価 B	事 調業 査者	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	経営指導員を中心 とした全職員体制 で巡回窓口指導を 強化し、引き続き 事業を実施する。	IJ -
巡回· 悉口相談指導事業	資等の金融相談、税務・労 務相談等経営全般の相談に ついて、経営改善に資する		小規模事業者	目標	目標 900 実績 794	目標	目標 20		16	■善を支援するとともに、 各種施策の普及を図ることができた。	合評価	T /Bil		目標達成度	必要性		実施方法①		実施方法②			
	指導を行う。			数値	3	牧値 704	数值	20	数值						В		Α		現行どおり	現行どおり		
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に、正 しい記帳方法、決算・確定 申告の指導を行い、適正な	·指導対象者数70人 ·指導延日数584日 ·指導延回数776回		指標		延回数	指標	(達成度 %)		04)	記帳継続指導により、事 業者が正しい記帳方法を 身につけ、経理と正確な	総	業	実	自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	正しい記帳による適正な税務申告を推進するため、引き続き事業を実施する。	-
	税務申告と経理の自計化、 計数管理による経営力の向 上に結びつける。		小規模事業者	$\vdash$	(達成度 1	41.3 %)				%) 	税務申告の自計化が図られた。			だ 施 平側 。	Α	查者結	Α		下げる	<b>+</b> 11-1.1.0		
				目標 数値	549	実績 776 数値 776	目標 数値		実績 数値		11720	価		<b>版の</b>	標達成度	果への	必要性		実施方法①	実施方法②	7 % 0	
	多様化する経営環境に対応	・講習会開催回数及び受講		- I							小規模事業者が必要とす			_	Α		Α		現行どおり	_	受講対象者に応じ	
	タ情化するな 連報では、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない	者数 集団4回13人 個別11回6人 計15回19人		指標	開催回数(集団) 指標	指標				小規模事業者が必要とする知識や技術習得のため の講習会開催により、事		4	実	自己評価	調事	満足度	補足	目標①	目標②	受講対象者に応じ  たテーマの選定に  十分注意するとと	=	
講習会等			小規模事業者	(達成度 200.0 %)		(達成度	(達成度 100.0 %)		業者の資質向上と経営力 強化につながった。		業	養施 平側	В	査業	В		現行どおり	現行どおり	Tが注息するとと もに、問題意識を もって講習会を開	-		
				目標 2 実績 数値 4	目標 数値		実績 数値 11	11	強化にフながうだ。	価		<b></b> あ	標達成度	果への	必要性		実施方法①	実施方法②	催する。	1		
				奴旭	39	文1世	蚁胆		数順					_	Α		Α		現行どおり	現行どおり	1 10 14 + 46 + 100	<u> </u>
	産業まつりを開催することにより、その集客力を活かして地域経済の活性化をり、地域産業のPR機会をいるとともに、地域の総会会を表現を図ることを目的とするととするととを目的とするととなる。	・美浜町産業まつり(開催 日11月10日) 出店企業・団体数22企業・ 団体	小規模事業者	指標	出店企業・団体数 指標	指標				地域の産業を広く住民に	出総合	=	E == E	自己評価	事	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者が販 路を拡大し、販売 促進を図れるよ う、引き続き事業		
祭典事業				(達成度 122.2 %)		(達成度 %)		%)	店企業の商品・サービス の販売促進が図られた。			<b>美施</b>	Α	趙業 査者	Α		現行どおり		• 0			
****				目標	18	実績 22	目標		実績			評価		平側 目の	標達成度	結への	必要性		実施方法①	実施方法②	を実施する。	
	る。 -			数値	š	数值 <sup>22</sup>	数值		数値						Α	• ,	Α		現行どおり			
	地域の活性化、魅力ある地域づくりのため、花一杯運動を実施する。 商店街の活性化と治安維持	・花一杯運動(5月・10月 (年2回) 花一杯運動来場者数延452人 ・街路灯維持管理 (管理基数166基)	小規模事業者	指標	花一杯運	動来場者数	指標	(達成度 %)			花の苗の配布を通じて、地 域の活性化と魅力ある地域				自己評価	*	満足度	補足	目標①	目標②	──地域の活性化と魅 ──力ある街づくりに ──向け、引き続き事 ──業を実施する。	
商店街・街づくり				7日1示	(達成度 1	00.4 %)	7日1宗			%)	づくりにつながった。 街路灯の維持管理により、	総合	, j	事実 養施	Α	調業	В		現行どおり			F
事業	のため、街路灯の維持、管理を実施する。		小院侯争未有	目標	450	実績 452	目標		実績		一商店街の活性化が図られ、 治安維持にもつながった。	評価		平側 雨の 目	標達成度	結への	必要性		実施方法①	実施方法②		
				数值	450	收值 <sup>452</sup>	数值		数值			-	"	-	Α	0)	В		現行どおり			
	受注機会の増加を図るため、増 改築相談員有象の無料リフォーム 相談会を開催する。 地域住民対象の無料リフォーム 相談会を開催する。 地域の特色をはたした認定特産 あや地域を源の活用・開発・ 及・PRを行う。 MIHAMA商工会サミットを 開催し、地域経済の活性化に向	・無料リフォーム相談会 無料相談会明催回数13回 ・各種イベントにおける P R活動の実認定品 P R) ・M I H AM A商工会サ ミットの開催 (参加商工会数4商工会)		七十二	相談会開催回数 指標 (達成度 108.3 %)		七振	指標		!	無料リフォーム相談会の開催により、構成事業所の受 注機会増加を図ることがで	総合		E	自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	構成員の受注機会 増加を図るため、 引き続き事業を 施する。 産業活性化のた	
<b>ウルイルル</b> <del></del>			小担贷事業書				7日1宗	(達成度	(達成度 %)		きた。 商工会サミットの開催によ り、情報交換と交流が図ら		, 1	実施	Α	調業	A		現行どおり			
産業活性化事業			小規模事業者	目標		実績 13	目標		実績		れた。 事業を通した特産品のPR により、産業振興につな	評価	'`	平側 画の 目	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	め、地域資源の活用とPRを引き続き実施する。	
	けた情報共有を行う。			数值	9	牧値 13	数值		数値		がった。				Α		В		現行どおり			
	産官学連携による異業種交 流会を開催することによ	・異業種交流会 交流会参加者数117人		交流会参加者数 指標		指標				異業種交流会の開催によ り、参加した小規模事業				自己評価	*	満足度	補足	目標①	目標②	産学官連携により 実り多い交流を実		
経営強化事業	り、参加者同士の情報交換 や自社PRの機会とすると		小規模事業者	7日1示	(達成度 1	17.0 %)	7日1宗	(達成度	Ę	%)	者の情報収集や人脈構築 を促進し、経営強化につ	を促進し、経営強化につ 合 業が	事業	*施	Α	調業	В		現行どおり		現しており、引き 続き事業を実施す	き
在呂畑儿尹未	ともに、地域経済の持続的 発展に寄与する。		小风侠尹未日	目標	100	。 実績 117	目標		実績		ながった。	評価		平側 雨の 目	標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	る。	
				数值	100	数値 117	数值		数值			-	"	-	Α	0)	Α		現行どおり			
	商工会事業の周知・利用促進事業の原外の中小企業・小規模事業 国や廃の中小企業・小規模事業 お底策の管変、他商工会の活性 状況などの情報を定期的に提供 するため、合同会報を発行す る。 地域の産業の状況や経済動向等 について、四半期ごとに実	・広報誌「風」 広報誌発行回数年4回 ・中小企業景況調査の実施	小規模事業者	15.15	広報誌発行回数			指標			広報誌の発行により、小規 模事業者への施策普及に加 え、他の商工会の事業活動			E	自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	各種施策の普及と情報提供のため、	
調査・広報事業				THT宗	(達成度 100.0 %)		7日1宗	(達成度 %)		%)	に関する情報を定期的に提供することができた。 一中小企業景況調査の実施に	総合	,   \$	事実 能施	Α	事業 書業 者	В		現行どおり		──引き続き事業を実 施する。 ──	
四旦 四刊学术				目標		<b>実績</b> 4	目標		実績		一中小企業京沈調堂の美施により、地域の産業状況や経済動向を把握することができた。	評価	B <sup>2</sup>	平側	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	)	
	諸情報を迅速かつ的確に収集・ 提供する。			数値 4	. 9	牧値 す	数值		数値						Α		В		現行どおり			

団体名: 美浜町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる	事業評価																	
尹禾12			対象者		目 標①	目標②				得られた効果				ABC	D評価	i		今後の展開・高			備考
青年部・女性部事業	部員相互の交流や社会福祉 を通じて地域との関わりを 持ち、地域社会の発展に寄 与することを目的とする。	・青年部・女性部事業 青年部(回) 商合、産業サックトボール大会、サッフトボール大会、チサックション・東 サック・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース		指標	事業開催回数	指標	(達成度 %)		%)	活動を通じて部員間の交流が深まり、地域との関わりを持つことで、地域とは社会の発展に寄与できた。	総合		事実	自己評価 A	調査事業	満足度 A	補足	目標①	目標②	部員増強と組織強 化を図り、引き続 き事業を実施す る。	
			小規模事業者	目標数値	12 実績 16	目標数値		実績 数値			評価	A	平側	目標達成度	結果の	必要性			実施方法②		
	事業者相互の交流と親睦を深	り、タウンマラソン、そば打ち・支部会事業、部会事業、								部会、支部会、委員会の				A		Α		現行どおり		部会、支部会の組	-
	め、幅広い情報収集の機会を創 出するために、支部会事業およ び部会事業を実施する。	委員会開催回数6回		指標			指標		円滑な運営を指導したことで、小規模事業者の交	総	Ę	事実	自己評価	調事	満足度補足	補足	目標①	目標②	職強化を図り、引き続き事業を実施	I I	
部会・委員会事業		(6支部合同親睦事業1回、 支部長会3回、部会合同視察	小規模事業者		(達成度 100.0 %)		(達成度		%)	流促進と情報収集を支援 できた。			業施 平側	Α	查者	A	-	現行どおり	<b>***</b> **	する。	0
		研修1回、事業評価委員会1		目標 数値	6 実績 6	目標 数値		実績 数値			価		価の	目標達成度	果の	必要性		実施方法①	実施方法②		
	経営上のリスク軽減や雇用	<ul><li>各種共済制度の普及推進</li></ul>		-	/A 内					共済制度の普及と加入促			_	A === /==		В	** □	現行どおり	D#8	企業の経営安定を	_
福利厚生事業	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	及び加入促進 ・健康診断事業 (開催日6月 6日・7日、7月4日・5日) 健康診断受診者数55人	中小・小規模 事業者			指標 (法武安 0/)		進、健康診断事業の実施 により、企業の福利厚生		事	実	自己評価	事調業	満足度	補足		目標②	図るため、引き続き事業を実施す	å		
					(達成度 110.0 %)		(達成度 %)		%)	が向上し、雇用の安定化 と経営の安定化につな			業施 平側	Α	查者	B A meth		現行どおり	<b>***</b>	<b>ā</b> .	
	るため、健康診断事業を実 施する。			目標 数値	50 実績 数値 55	目標 数値		実績 数値		がった。	価	fi	<b>画の</b>		果の	必要性		実施方法①	実施方法②		
	事業主に代わって労働保険料の	<ul><li>労働保険事務組合</li></ul>				+				委託事業所の事務処理負				A	_	Α		現行どおり	0	委託事業所の事務	5
雇用・労働事業	申告納付、その他労働保険に関する各種の届出等を行うことで、事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険	委託事業所数120件 ・合同企業研究フェアの開 催(開催日12月20日) (参加管内企業数0社)		指標	委託事業所数 指標 (達成度 103.4 %)		指標 (達成度 %)		担軽減と労働保険料の適 正徴収を図り、未加入事 業所への適用を促進でき	総		事実	自己評価	事業	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	処理負担軽減のた め、引き続き事業 を実施する。 地元企業の採用活	ŧ	
	料の適正な徴収を図る。 求人対策事業「知多地域学生就		中小・小規模 事業者							」に。 知多地域学生情報セン	合評	A	評側	日播演成在	査者	必要性		実施方法①	実施方法②	地元近来の採用活動を支援するため、引き続き事業	
	職情報センター(るびあん)」 に参画し、地元企業の採用活動 をサポートする。			目標 数値	116 実績 数値 120	目標 数値		実績 数値		ターへの参画により、地 元企業の採用活動を支援 できた。	価	fi	<b>画の</b>	目標達成度 A	果の	必安 L A		現行どおり	关旭万法(2)	め、51さ続さ事業  に参画する。 	
	経験豊富な専門家による経営に必要な知識やノウハウの解説、各種課題への支援 施策の情報を交えながら、経覚スキルや情報を習得する。	・若手経営者等勉強会 開催回数1回 受講者数1人 受講者満足度100%(アン ケート調査)	小規模事業者			受講者満足度		勉強会の開催により、若				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	若手後継者等育成			
				指標	(達成度 10.0 %)	指標	(達成度	(達成度 125.0 %)		手経営者が経営に必要な 知識を習得することがで きた。		- 4	事実	С		Α		現行どおり	現行どおり	に必要なため、引き続き事業を実施する。	
事業				目標数値	実績	目標		実績				B	平側	目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②		
					10 数値 1	数值	80	数値	100		ш	ш		С	^ o	Α		現行どおり	現行どおり	1	
	られる小規模事業者に対し、経 営指導員や専門家との対話を通 じて、自社の財務状況、強み・ 個別の順 のなどを把握し、事業計画策 計7回2	・講習会開催回数及び受講 者数 集団7回26人 個別0回0人 計7回26人		指標	開催回数(集団)	指標	開催回数(個別)		固別)	経営分析セミナーと計画 策定セミナーの開催によ り、小規模事業者が自社 の財務状況、事業計画を策 定できた。	合			自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	厳しい経営環境にある小規模事業者の持続的発展を支援き事業 ため、引き続き事業 を実施値別相談会を 廃止し、より個別	F
講習会等(経営発達支援事業)			小規模事業者	扫标	(達成度 140.0 %)	1日1示			%)			_ B	事実	В	事業者	Α		現行どおり	廃止		
			小	目標	5 実績 7	目標	2	実績	0	DX推進に関するセミ ナーの開催により、小規 模事業者がDXに関心を	価	_ I ii	平側	目標達成度	結への	必要性		実施方法①	実施方法②	ニーズに対応できる 専門家派遣制度を活 用する。	5   -
	のIT化・DX化を推進させること を目的とする。			数値	数值 ,	数值	2	数値	v	持ち、身近なものとして 理解を深めた。				С		Α		現行どおり	廃止		
若手後継者等育成	女性部員を対象に、資質向上となるセミナーを開催する。 (阿久比町商工会、東浦町商工会、東浦町会会、内海商工会、東浦町工会、東浦町工会、東町商工会、武町商工会、武町商工会会、武町商工会の合同開催(知多支部商工会女性部連絡協議会))	・女性部資質向上事業(セミナー開催)(9月) 参加者数81人(※7商工会の合計) 参加者満足度98%(アンケート調査)	女性部員	指標	参加者数		参加者満足度		2度	セミナーを通して、地域の絆、人と人の絆、商工				自己評価		満足度	補足	目標①   目標②  で	地域の絆の場として活動していき、		
				担係	(達成度 115.7 %)	指標	(達成度 122.5 %)		%)	会女性部の絆を強くし、 今後の女性部活動を推進 する上での礎をつくるこ	総合	1 1	事実	Α	事 調業 査士	Α		現行どおり	現行どおり	組織の結束力を高め実施していきたい。	
				目標	70 実績 81	目標	00	実績		とができた。	評価		平側	目標達成度	世帯への	必要性		実施方法①	実施方法②	1	
				为值 70 数值	数値 81	数值	80	数值						Α		А		現行どおり	現行どおり		

<sup>※</sup> 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。